

安全報告書(平成27年度)

I ご利用の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用ご理解を賜り誠に有難うございます。

当スキー場はお客様を安全に目的地まで輸送するのが索道事業の使命であるという理念のもとに、職員一丸となって、安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返ると共に広くご理解をいただくために公表するものです。

皆様の声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

アライ地所株式会社 取締役社長 荒井 保明

II 輸送の安全を確保するための基本方針及び安全目標

1 基本方針

- 1) 社長及び役員は、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用し、輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針は次項によるものとし、安全の確保に関する業務の実施状況を踏まえ、必要に応じて見直すものとする。
- 2) 社長、役員及び職員(職員に準ずるものを含む)の安全に係る行動規範(安全の基本理念、安全方針)は次のとおりとする。
 - ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
 - ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程(以下「法令等」と言う。)を良く理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
 - ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
 - ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
 - ⑤ 事故、災害等が発生したときには、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
 - ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
 - ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な改革に果敢に挑戦すること。

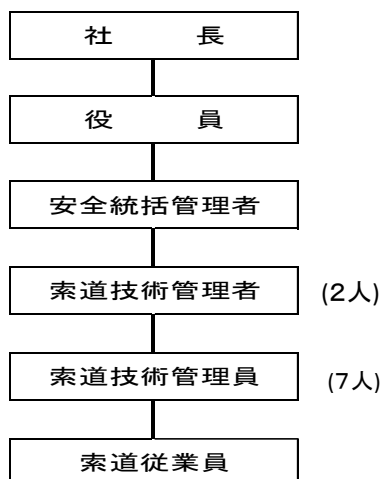
2 安全目標

【2015-2016年 安全目標「索道運転事故0件」】

- ・ 社長以下全職員が目標達成に向け努力し、お客様のご理解、ご協力のもと、安全目標「索道運転事故0件」を達成いたしました。

III 輸送の安全を確保するための管理体制及び役割・権限

【安全管理体制図】



- 1 社長は輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- 2 社長及び役員
 - ① 輸送の安全を確保する為の索道事業の実施及び管理の体制を整備するとともに、索道事業の実施及び管理の方法を定める。
 - ② 輸送の安全を確保する為、索道事業の実施及び管理の状況を把握し、必要な改善を行う。
 - ③ 輸送の安全確保に関する改善施策の決定に際しては、安全統括管理者の意見を尊重する。
 - ④ 事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態（以下、「事故・災害等」という。）の規模や内容等に応じ、対応方法その他必要な事項を、職員等に周知・徹底する。
- 3 安全統括管理者
索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
- 4 索道技術管理者
安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
- 5 索道技術管理員
索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

IV 輸送の安全確保のための取り組み

1 緊急時対応訓練

カムイスキーリンクスでは、毎年、営業前に索道従業員に索道事故や災害を想定した救助訓練を実施しています。又、索道施設の運転教育・整備教育・接客教育など実施し索道の安全確保に取り組んでいます。



リフト救助訓練①



リフト救助訓練②



ゴンドラ救助訓練①



センターハウス避難訓練

2 設備投資(検査・設備整備の状況)

毎年、索道運行開始前に整備細則及び関係法令に基づき索道施設の点検を実施し、運行に支障がないことを確認し運行を開始しています。シーズン中に定期検査を実施し安全運行に努めています。

なお、ゴンドラリフト、リフトなどの索道設備が経年使用により老朽化したことから、保安度の向上、お客様へのサービスの向上を図るため、平成26年度から設備の大規模改修を実施しています。

1) 普通索道(カムイスキーリンクス ゴンドラリフト)

ゴンドラリフトは、平成26年度に山麓、山頂機械設備、電気設備、ワイヤーロープを更新いたしました。

2) 特殊索道(第1ペア～第5ペアリフト)

- ① 第1ペアリフト 平成27年度に山麓原動設備、山頂折返し設備、ワイヤーロープ、索受装置、高圧電気設備の更新や支柱の再塗装をいたしました。
- ② 第4ペアリフト 平成27年度に山麓原動設備、山頂折返し設備、ワイヤーロープ、索受装置、高圧電気設備の更新や支柱の再塗装をいたしました。



第1リフト山麓停留場機械装置更新



第4リフト山頂停留場機械装置更新



索受け装置の更新



ワイヤーロープ交換



屋外キュービクル更新



リフト運転室更新

- ③ 第2ペアリフト A. B線 握索機分解整備、索受センター調整、索輪交換
- ④ 第3ペアリフト 握索機分解整備、ブレーキパット交換
- ⑤ 第5ペアリフト 握索機分解整備、索輪交換

V お客様へのお願い

リフトをご利用の際は、下記の事項をお守りください。
 なお、この内容を記載した看板をリフト乗り場に設置してあります。

(乗降時の注意)

- 1 一時停止位置で2列にお並び下さい。
- 2 係員の指示で2人いっしょに「乗車位置」まで進んで下さい。
- 3 ストックはまとめて片手にお持ちください。
- 4 イスに正しくおすわり下さい。
- 5 1人時はイスの中央におすわり下さい。
- 6 ストックで工作物にさわらないで下さい。
- 7 運転中は絶対にイスをゆすぶったり・飛び降りたりしないで下さい。
- 8 運転中減速又は停止することがありますので、ご注意下さい。
- 9 乗車に不安のある方は、事前に係員まで申し出て下さい。
- 10 お降りの時は「降車位置」ですばやく前方へすべりおりて下さい。

VI 索道事故及びインシデントについて

《平成27年度シーズンの索道事故・インシデント等の発生状況のまとめ》

- 1 索道運転事故の発生状況 平成27年12月1日～平成28年4月3日
 - ・ 事故等の発生はありませんでした。
- 2 インシデントの発生状況 平成27年12月1日～平成28年4月3日
 - ・ インシデントの発生はありませんでした。

VII 連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

〒074-1181

北海道旭川市神居町西丘112番地

アライ地所株式会社(カムイスキーリンクス)

TEL 0166-72-2311

FAX 0166-72-2354

<http://www.kamui-skilinks.com>

info-k@kamui-skilinks.com